

シンポジウム

「地域リハビリテーションと地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション専門職の役割」

The 28th Tohoku Occupational Therapy Congress in Akita

「作業療法“士”が必要とされる地域をつくる」

三浦 晃

医療法人社団 東北福祉会 介護老人保健施設 せんだんの丘



当協会の地域包括ケアシステム推進委員会（以下、当委員会）では、平成28・29年度において、3回にわたり「地域会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会（以下、人材育成研修会）」開催してきた。これを通じて見えてきた課題がある。それは、「助言の要点化（平易に表現する・簡潔にまとめる・かつ明日から役立つような具体的な助言をする）」「帳票類の理解」「ケアマネジメントプロセスの理解」「地域課題の助言」という4つの課題と、地域ケア会議や総合事業への作業療法士の参加が非常に芳しくないという全国的な現状である。

そこで、当委員会の平成30年度の活動は、これらの課題解決に資するべく、人材育成のみならず、地域支援事業に作業療法士ニーズを生み出すアクションや活用されるためのシステムづくりにも焦点を当てることとした。各士会での具体的な実践と成果への結びつけを目的に、「4回目の人材育成研修会の開催」「地域ケア会議の助言集の作成」「生活行為支援マニュアルの作成」「各士会における人材育成研修等への講師派遣」を活動項目に掲げたところである。

ところで、作業療法士以外の方々が、“作業療法”を理解し、自立支援の手段として我々を求めているためにどんなアクションが必要だろうか？言葉だけでは伝わりにくい“作業療法”の魅力を伝えるには、“作業療法”を実践できる作業療法士と出逢う機会を作り、その効果を実感していただくことこそ重要と捉えている。各地の地域包括ケアシステムの構築に作業療法士が貢献していくには、何にも増して、より多くの方々に“作業療法”に触れてもらうこと。これに尽きるのではないだろうか。

協会そして士会の立場から、試行錯誤の取り組みを紹介しつつ、皆様と一緒に考える機会としたい。

略歴●三浦 晃（みうら こう）

【経歴】

平成17年 作業療法士国家資格取得

平成17年 JA 秋田厚生連鹿角組合総合病院（現：かづの厚生病院）精神科デイケア所属

平成20年 医療法人社団 東北福祉会 介護老人保健施設 せんだんの丘入職：訪問看護ステーション所属

平成21年 支援相談員となり現在に至る

【資格】

作業療法士・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員

【社会活動】

日本作業療法士協会 企画調整委員会（2009/6～2017/3）

生活行為向上マネジメント推進プロジェクト委員会（2014/4～2018/3）

日本作業療法士協会 地域包括ケアシステム推進委員会 委員長（現在）

日本作業療法士協会 学術部（現在）

宮城県作業療法士会 企画調整局 地域支援部 部長（現在）